

平成 25 年度

「学生によるオレンジリボン運動」



こども教育宝仙大学 実施報告書

実施主体 カモスサークルと有志

実施内容 平成25年10月26日～27の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

サークルおよび有志で事前に集まり、児童虐待とは何かを今一度確認し、オレンジリボンの意味についての学習を行った。その上で、オレンジリボンやリーフレット等を配り、適宜説明することを決めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボン運動は、学際期間中に行った。初日は雨のため学内だけの活動になったが、二日目は学外の方も来学され、その方々にオレンジリボンおよびリーフレット等を配った。その時に立ち止まってくださった方などには、オレンジリボン運動の意味を説明した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

オレンジリボンについては、最近様々なリボンがでているため、何らかのリボンであることは知っておられる方が多かった。しかし、オレンジリボンが虐待防止のシンボルであることは知られない方がほとんどであり、これを機にオレンジリボンの意味を知っていただいととてもよい機会となったと思う。虐待に関する関心はあるものの、積極的に行動をされる方はあまりない印象であった。配ったら受け取るが、おいてあるものを自らとっていく、あるいは質問するという様子は見受けられなかった。顔をよく知った学生は、オレンジリボンをつけてくれるなど協力してくれた。これを機に今後も地道に活動を続けていきたいと思う。